

迅速な災害復旧～建設 ICT の活用～



危険が予測される災害現場での安全な調査・測量

平成 26 年 8 月 10 ～ 11 日の台風 11 号の豪雨により、中山間地域をつなぐ主要路線である国道 152 号で斜面が崩壊する災害が起こりました。迅速な復旧が求められる中、安全な調査・測量を行うにあたり、国土交通省が ICT 技術として推進する種類から以下の 2 つを実施しました。

1 小型無人飛行機 (UAV) で撮影したデジタル写真画像から多視点画像解析法による三次元モデルを作成



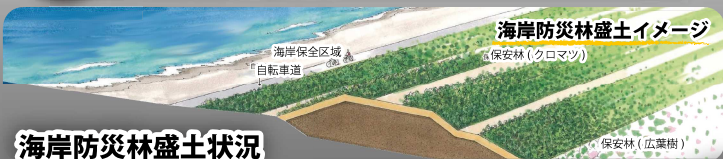
2 レーザースキャナーによる点群データから三次元モデルを作成



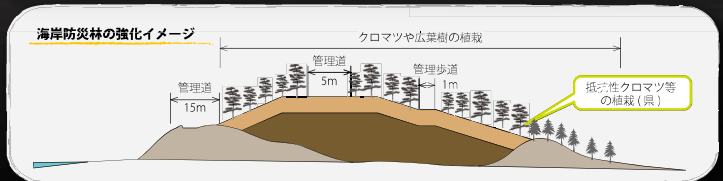
あらゆる災害に挑む。



海岸防災林の強化 ～掛川モデルで津波に備える～



海岸防災林盛土状況



「希望の森プロジェクト」による植樹活動

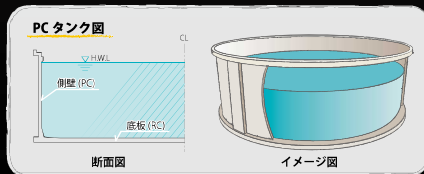
概要
委託名：平成 26 年度 県施行河川事業推進事業 海岸防災林強化に伴う基本計画策定業務
委託箇所：掛川市沿岸 大須賀海岸・大浜海岸
延長：約 10km
発注機関：掛川市



ため池決壊から県民の命を守る



中畑調整池が決壊した場合、直下にある玉穂小学校児童の命が危険にさらされるため、早急な耐震対策が求められました。設計にあたり、東日本震災でもほとんど損傷がなかった PC タンクを採用、世界遺産である富士山を小学校からも一望出来るように半地下に設置しました。



概要
委託名：平成 23 年度 障害防止 (施設補修) 東富士地区中畑調整池測量設計委託 その 4
委託箇所：御殿場市 中畑地内
発注機関：静岡県東部農林事務所

南海トラフ巨大地震に備える